

評価基準

評価項目		提案書類	評価の視点・判断基準	配点
組織評価	実施体制	組織調書 (様式イ)	業務に応じた担当者の配置や構成が明確であり、迅速・柔軟に対応できるかを総合的に評価 5点: 担当者の配置や構成が明確であり、迅速・柔軟に対応できる 3点: 担当者の配置や構成は明確である 0点: 担当者の配置や構成が明確でない	5
実施方針等評価	業務理解度	業務等の 実施方針 (様式オ)	業務の目的を理解した上で、課題を的確に分析している場合に評価 15点: 業務の目的を理解した上で、課題を的確に分析している。 8点: 業務の目的を理解しているが、課題を的確に分析できていない。 0点: 業務の目的を理解しておらず、課題も分析できていない。	15
	業務手順	業務等の 実施手法 (様式力)	(1)業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合 (2)業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合 に評価 10点: (1)、(2)のいずれにも該当する場合 5点: (1)又は(2)のうち、いずれかに該当する場合 0点: (1)、(2)のうち、どちらにも該当しない場合	10
提案内容評価	戦略立案	企画力	従来の施策に関する課題を的確かつ具体的に示しているかを評価 10点: 非常に優れている 8点: 優れている 5点: 標準的である 0点: 劣っている	10
			課題に対する改善策が具体的かつ効果的と見込まれるかを評価 10点: 非常に優れている 8点: 優れている 5点: 標準的である 0点: 劣っている	10
			課題に対する改善策が中長期的な視点を持つとともに妥当性を評価 10点: 非常に優れている 8点: 優れている 5点: 標準的である 0点: 劣っている	10
			既存のコンテンツとの連動性の高さを評価 10点: 非常に優れている 8点: 優れている 5点: 標準的である 0点: 劣っている	10
	テスト事業の実施及び分析	実行力	(1)実施する事業の実現可能性が高い場合 (2)その事業が定量的に分析できる場合 に評価 25点: (1)、(2)のいずれにも該当する場合 15点: (1)又は(2)のうち、いずれかに該当する場合 0点: (1)、(2)のうち、どちらにも該当しない場合	25
参考見積	業務コストの 妥当性 ※	参考見積書 (様式エ)	業務コストの妥当性について評価する。 配点×最低見積額÷見積額(小数点切り捨て)	5
合計				100

- 「※」の評価項目はヒアリング前に事務局にて審査する。
- 合計点が最も高い者を受託候補者として特定する。
合計点が最も高い者が複数いる場合は、「提案内容評価」の合計点が最も高い者を受託候補者として特定する。
さらに、その複数者の「提案内容評価」の合計点が同点となった場合は、参考見積金額が最も低い者を、さらに、その複数者の参考見積金額が同額であった場合は、くじにより受託候補者を特定する。
- 「提案内容評価」において、いずれかの項目について委員全員の配点が0点のものがある場合、または委員全員の評価の合計点が満点の2分の1未満の場合は、受託候補者として非特定とする。